

たしかな経営のあかし

福岡中央銀行

ミニディスクロージャー誌
第92期 営業の中間ご報告
(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

2012年

平成24年9月期版



©Papriko, Ink.

MUSBO

も く じ

ごあいさつ 当行の概要	P 1
経営方針・中期経営計画	P 2
Q & A (当行をより深く知っていただくために)	
Q平成24年9月期の業績はどうだったの？	P 3
Q損益の状況は？	P 5
Q自己資本比率はどのくらいなの？	P 6
Q不良債権の状況は？	P 7
Q中間財務諸表は？	P 9
Q金融円滑化の取組み状況は？	P 11
Q地域貢献にはどのように取組んでいるの？	
(本業を通じた地域貢献)	P 13
(地域との密着化)	P 14
(地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝い)	P 15
Q環境保全には対応しているの？	P 16
Q金融犯罪防止への取組みは？	P 17
役員・株式のご案内	P 18

当 行 の 概 要

創 立	昭和26年6月
商 号	株式会社福岡中央銀行 (THE FUKUOKA CHUO BANK, LTD.)
本店所在地	福岡市中央区大名二丁目12番1号
資 本 金	25億円
預 金	4,565億円 (譲渡性預金を含む)
貸 出 金	3,440億円
従 業 員	554名 (男性355名、女性199名)
店 舗 数	41店舗 (本支店39・出張所2)
株 式 上 場	福岡証券取引所 (昭和43年3月)

(平成24年9月30日現在)



ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども福岡中央銀行を格別にお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

当行は福岡県内を営業地盤とし、地域社会とともに発展することを経営理念に掲げ、地域金融機関としての使命を果たすとともに、健全経営を貫く銀行として高い評価を得てまいりました。

これもひとえに、皆さま方の永年にわたるご支援の賜と心から感謝いたしております。

私ども福岡中央銀行は「この街でごいっしょに」の精神のもと、お客さま一人ひとりを大切にする「ハート・ツー・ハート」の金融サービスを力強く推し進め、地域の皆さまからより一層広く、深く愛され親しまれる銀行を目指して努力してまいります。

今後とも、引き続き倍旧のご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この小誌が皆さま方に、当行をより深くご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

平成24年12月

取締役頭取 末松 修

経営方針・中期経営計画

【経営方針】

当行は、「福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」ことを経営理念に掲げ、特に、中・小規模の企業・事業所と個人のお客さまを中心に中・小口取引に特化した営業活動を展開しております。

平成24年4月から、向こう3年間における新しい「中期経営計画」をスタートさせております。本計画では、副題を「地域との絆を大切に、地域のオンリーワン銀行を目指して」とし、基本方針を「お客様に軸足を置いた真の顧客サービスを提供する」、「資産の健全性確保と、収益性により、顧客からの信頼を深める」、「生産性を高める人の改革と活力ある組織作りを行う」として、地域の中小企業および個人の皆さまにとって、なくてはならない「この街でいっしょに」の地域金融機関を目指し、役職員一致協力して努力してまいります。



【中期経営計画】

〈計画期間〉

平成24年4月から平成27年3月まで

〈基本方針〉

1. お客様に軸足を置いた真の顧客サービスを提供する
2. 資産の健全性確保と、収益性により、顧客からの信頼を深める
3. 生産性を高める人の改革と活力ある組織作りを行う

〈主要施策〉

1. 地域密着型金融の充実
2. 営業基盤の拡大強化
3. 収益力の強化
4. ガバナンス態勢の強化
5. 人材の育成と活性化



福岡中央銀行 本店

Q 平成24年9月期の業績はどうだったの？

A おかげさまで、預金・預かり資産等ともに増加しました。

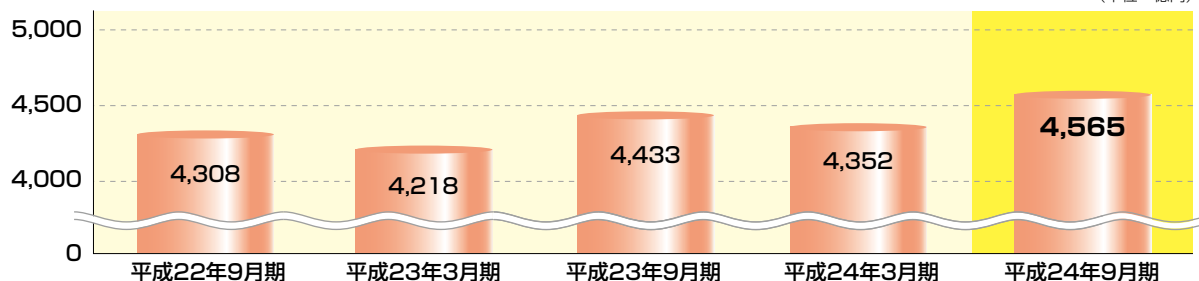
■ 預金

(預金には譲渡性預金を含む)

預金残高は、前年同期比で**132億円増加**して**4,565億円**となりました。

■ 預金残高の推移

(単位：億円)



■ 預かり資産等

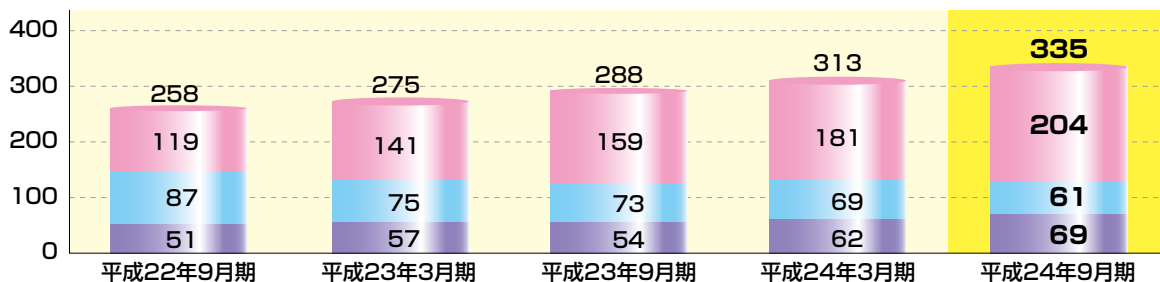
預かり資産等残高は、前年同期比で**47億円増加**して**335億円**となりました。

当行では、お客さまの多様化する資産運用ニーズなどにお応えるために、投資信託、公共債、保険等さまざまな金融商品のご提供を行っております。

■ 預かり資産等残高の推移

■ 投資信託残高 ■ 公共債残高 ■ 保険残高

(単位：億円)



A 貸出金もお取引先の資金需要にお応えした結果、順調に推移しております。

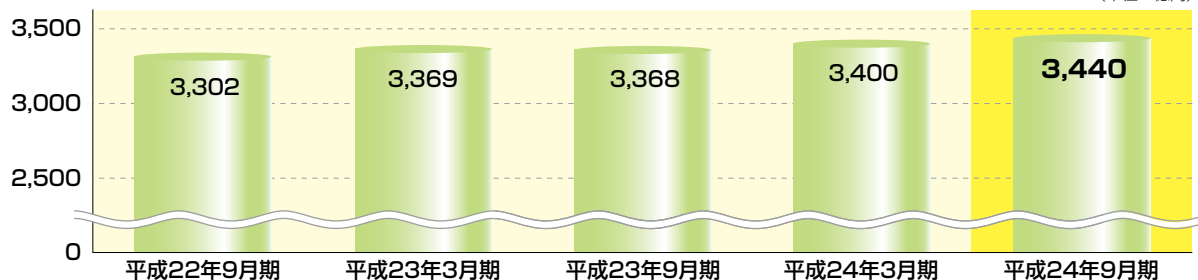
■ 貸出金

(中小企業等向け貸出金には個人向け貸出金を含む)

貸出金残高は、前年同期比で**72億円増加**して**3,440億円**となりました。

■ 貸出金残高の推移

(単位：億円)



当行は“地元に残り、信頼される銀行”を目指して、地域の皆さまの資金需要に対して積極的に取り組んでまいりました。特に、地元中小企業および個人の皆さまの資金需要に最大限お応えした結果、**中小企業等向け貸出金残高**は前年同期比で**50億円増加**して**3,095億円**となり、**貸出金残高全体に占める比率**は**89.97%**になりました。

今後も引き続き地域金融機関として地域社会の発展に貢献していきたいと考えております。

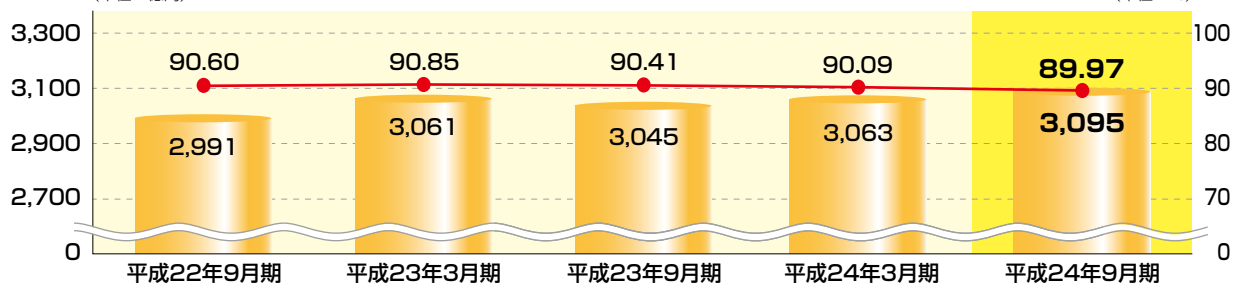
■ 中小企業等向け貸出金残高および比率の推移

■ 中小企業等向け貸出金残高

● 中小企業等向け貸出金残高比率

(単位：億円)

(単位：%)



Q 損益の状況は？

A 堅実経営に徹し、毎期確実に利益を計上しております。

■ 損益状況

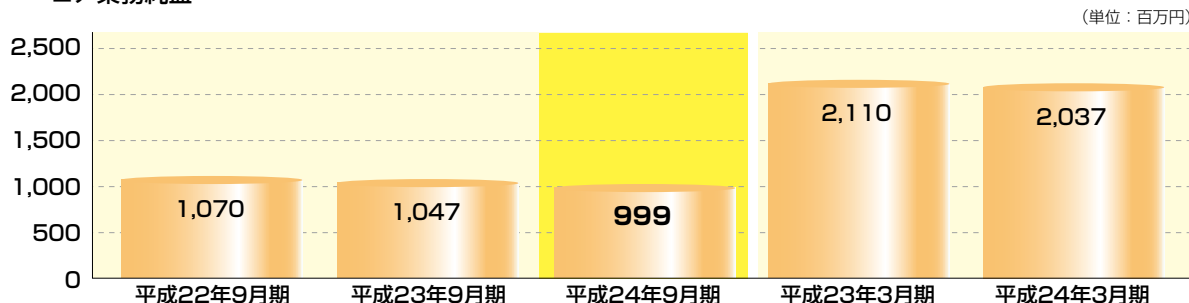
コア業務純益は、9億99百万円となりました。

経常利益は、7億74百万円となりました。

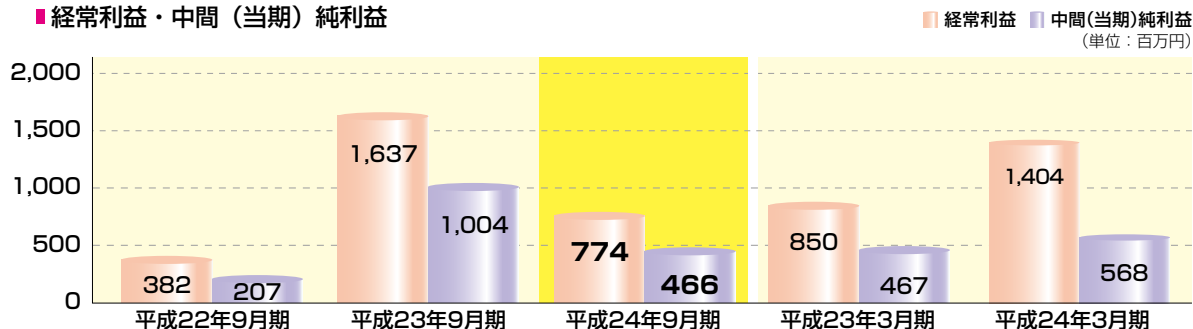
中間純利益は、4億66百万円となりました。

当行は昭和26年創立以来61年間黒字決算を続けております。

■ コア業務純益



■ 経常利益・中間（当期）純利益



用語のご説明

コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から一時的な変動要因を除いた、銀行の本来業務での利益です。

経常利益

銀行が本業を含めて普段行っている継続的な活動から得られる利益です。

中間（当期）純利益

経常利益に特別損益と税金等を加減算した最終的な利益です。

Q 自己資本比率はどのくらいなの？

A 国内基準の2倍以上の8.87%です。

■ 自己資本比率

銀行の安全性・健全性を示す最も代表的な指標が自己資本比率です。

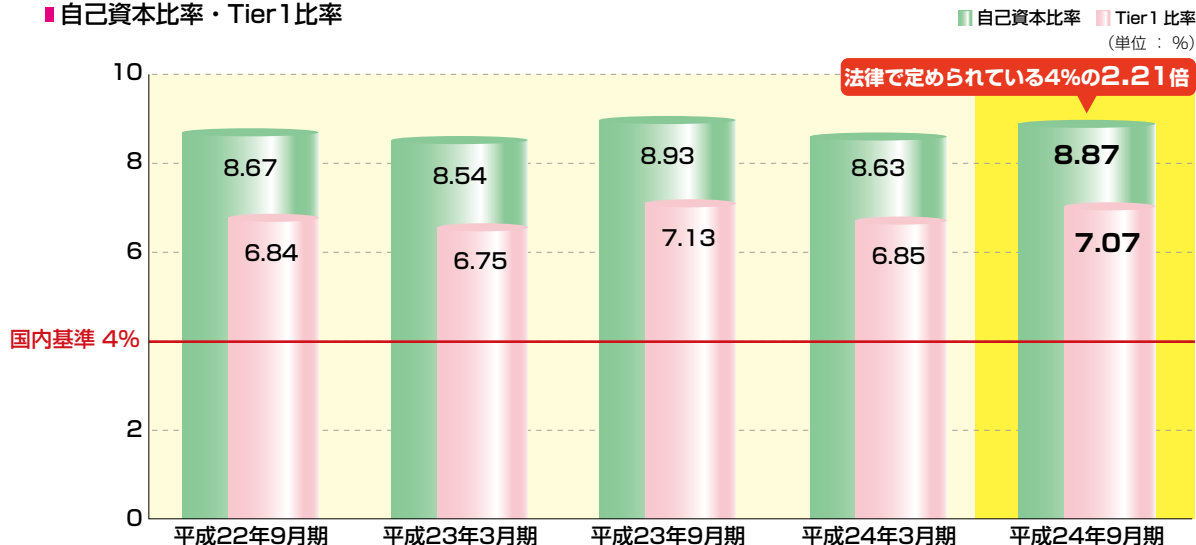
自己資本比率は国内のみで営業している銀行は国内基準の4%以上、海外に拠点を持つ銀行は国際統一基準の8%以上を保つ必要があり、当行は国内基準4%以上の自己資本比率の確保が求められております。

当行の**自己資本比率は8.87%**と**国内基準の2倍以上**あり、劣後ローン等の負債性資本調達手段に頼ることなく**高い安全性**を維持しております。

また、**Tier 1 比率も高く、高い健全性を維持しております。**

今後も収益力を高め内部留保を積み上げることにより、自己資本の充実を図ってまいります。

■ 自己資本比率・Tier1比率



用語の ご説明

自己資本比率

信用リスク・アセット(総資産のうち、貸し倒れの可能性がある資産)等に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標です。

Tier 1 比率

自己資本のうち、資本金および剰余金などを基本的項目(Tier1)といい、これを分子として計算した自己資本比率がTier1比率です。

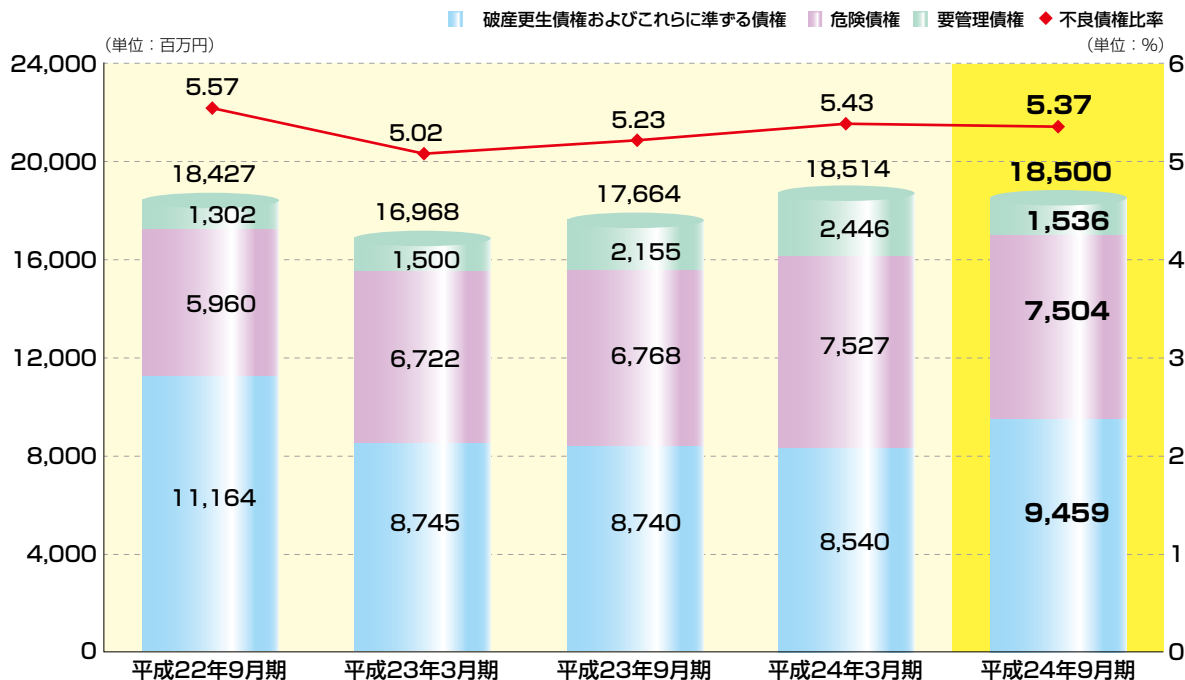
Q 不良債権の状況は？

A 厳格な資産査定と適切な保全・引当で、資産の健全性維持に努めております。

不良債権

平成24年9月期の金融再生法開示基準による当行の**不良債権額は185億円**、**不良債権比率は5.37%**となりました。

金融再生法開示基準による不良債権額および不良債権比率の推移



【金融再生法開示債権の定義】

用語のご説明

破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権。

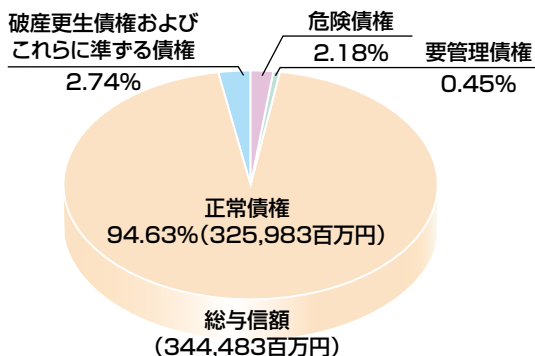
要管理債権

3カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権。

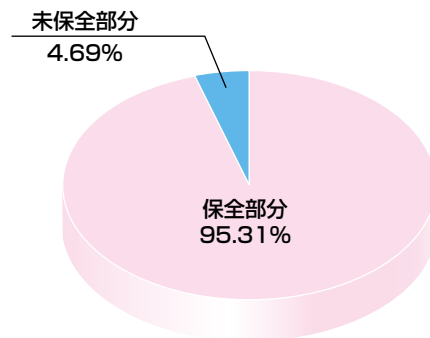
当行は、堅実経営をモットーに信用リスクの管理強化に努め、また「金融検査マニュアル」で示された、資産査定、引当基準の考え方を踏まえ、自己責任に基づき、かつ外部監査人との合意のもと、十分な貸倒引当金の繰入を実施しております。不良債権に対しての担保や貸倒引当金による**保全率**は**95.31%**で、残りの部分に対しても自己資本での対応が十分可能です。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査、リスク管理を徹底しながら、資産の健全性維持に努めてまいります。

■ 金融再生法開示債権の状況（平成24年9月期）



■ 金融再生法開示債権の保全状況（平成24年9月期）



■ 金融再生法開示債権の保全内訳（平成24年9月期）

（単位：百万円）

平成24年9月30日	破産更生債権およびこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	9,459	7,504	1,536	18,500
対象債権に対する貸倒引当金 (B)	1,086	753	54	1,894
担保・保証等による保全額 (C)	8,372	6,428	938	15,739
保全額 (D=B+C)	9,459	7,181	992	17,633
開示額に対する保全率(D÷A)	100.00%	95.69%	64.60%	95.31%



中間財務諸表は？



おかげさまで当行は昭和26年創立以来61年間黒字決算を続けております。

● 中間貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目				金 額
資 産	の	部		
現 金	預 け	金		30,406
有 価 証 券		金		95,728
外 国 為 替		金		344,022
そ の 他 の 資 産		金		132
そ の 他 の 資 産		金		1,536
有 形 固 定 資 産		金		1,536
無 形 固 定 資 産		金		13,698
繰 延 税 金		金		128
支 払 倒 引 当 金		金		669
貸 倒 引 当 金		金		213
負 債	の	部		
預 渡 性 預 金		金		△ 3,393
そ の 他 の 預 金		金		483,142
未 払 法 人 税		金		451,411
そ の 他 の 税 金		金		5,169
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		金		2,190
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金		金		128
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 担 額		金		29
支 払 倒 引 当 金		金		2,032
負 債 の 部 合 計		金		143
純 資 産 の 部 合 計		金		111
資 本 剰 余 金		金		2,314
資 本 準 備 金		金		213
利 益 剰 余 金		金		461,555
利 益 準 備 金		金		2,500
そ の 他 の 利 益 剰 余 金		金		1,203
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金		金		1,203
別 途 利 益 剰 余 金		金		13,309
繰 越 利 益 剰 余 金		金		1,396
自 己 株 式		金		11,912
株 主 資 本 合 計		金		512
そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金		金		10,725
土 地 再 評 価 差 額 金		金		675
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		金		△ 119
純 資 産 の 部 合 計		金		16,893
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		金		500
		金		4,193
		金		4,693
		金		21,587
		金		483,142

● 中間損益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目				金 額
経 常 収 益				5,120
資 金 運 用 収 益				4,535
(う ち 貸 出 金 利 息)				3,786
(う ち 有 価 証 券 利 息 配 当 金)				725
役 務 取 引 等 収 益				481
そ の 他 業 務 収 益				2
そ の 他 経 常 収 益				101
経 常 費 用				4,346
資 金 調 達 費 用				340
(う ち 預 金 利 息)				334
役 務 取 引 等 費 用				384
営 業 経 費				3,371
そ の 他 経 常 費 用				250
経 常 利 益				774
特 別 損 失				9
固 定 資 産 処 分 損				9
税 引 前 中 間 純 利 益				764
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税				131
法 人 税 等 調 整 額				166
法 人 税 等 合 計				298
中 間 純 利 益				466

● 中間株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位：百万円)

金 額				
株 主 資 本	本 金	高 額	計	高 額
資 当 期 首 残 動 合	2,500			
当 中 間 期 変 動 額	—			
当 中 間 期 末 残 高	2,500			
資 資 本 期 初 余 備 残 高	1,203			
当 中 間 期 変 動 額	—			
当 中 間 期 末 残 高	1,203			
利 益 期 初 余 備 残 高	1,396			
当 中 間 期 変 動 額	—			
当 中 間 期 末 残 高	1,396			
そ の 他 利 益 剰 余 金	474			
当 中 間 期 首 残 動 合	39			
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 の 積 立	△1			
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 の 取 崩	37			
当 中 間 期 末 残 高	512			
別 途 積 立 金 の 積 立	10,325			
当 中 間 期 変 動 額	400			
当 中 間 期 末 残 高	400			
繰 越 中 間 期 末 残 高	10,725			
当 中 間 期 首 残 動 合	714			
当 中 間 期 末 残 高	△67			
剰 余 金 の 配 当	466			
中 間 期 純 利 益 の 積 立	△39			
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 の 積 立	1			
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 の 取 崩	△400			
別 途 積 立 金 の 積 立	△39			
当 中 間 期 末 残 高	675			
利 益 剰 余 金 合 計	12,910			
当 中 間 期 首 残 動 合	△67			
当 中 間 期 末 残 高	466			
剰 余 金 の 配 当	—			
中 間 期 純 利 益 の 積 立	—			
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 の 積 立	—			
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 の 取 崩	—			
別 途 積 立 金 の 積 立	398			
当 中 間 期 末 残 高	13,309			

金 額				
自 己 株 式	高 額	△119		
当 中 間 期 首 残 動 合	—			
自 己 株 式 の 取 得	△0			
当 中 間 期 変 動 額 合 計	△0			
当 中 間 期 末 残 高	△119			
株 主 資 本 合 計	16,495			
当 中 間 期 首 残 動 合	△67			
当 中 間 期 末 残 高	466			
剰 余 金 の 配 当	△0			
中 間 期 純 利 益 の 取 得	398			
自 己 株 式 の 取 得	16,893			
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—			
評 価 ・ 換 算 差 額 等	371			
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	371			
当 中 間 期 首 残 動 合	128			
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 中 間 期 変 動 額 (純額)	128			
当 中 間 期 末 残 高	500			
土 地 再 評 価 差 額 金	4,193			
当 中 間 期 首 残 動 合	—			
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 中 間 期 変 動 額 (純額)	—			
当 中 間 期 末 残 高	4,193			
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	4,565			
当 中 間 期 首 残 動 合	128			
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 中 間 期 変 動 額 (純額)	128			
当 中 間 期 末 残 高	4,693			
純 資 産 合 計	21,060			
当 中 間 期 首 残 動 合	△67			
当 中 間 期 末 残 高	466			
剰 余 金 の 配 当	△0			
中 間 期 純 利 益 の 取 得	128			
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 中 間 期 変 動 額 (純額)	526			
当 中 間 期 末 残 高	21,587			

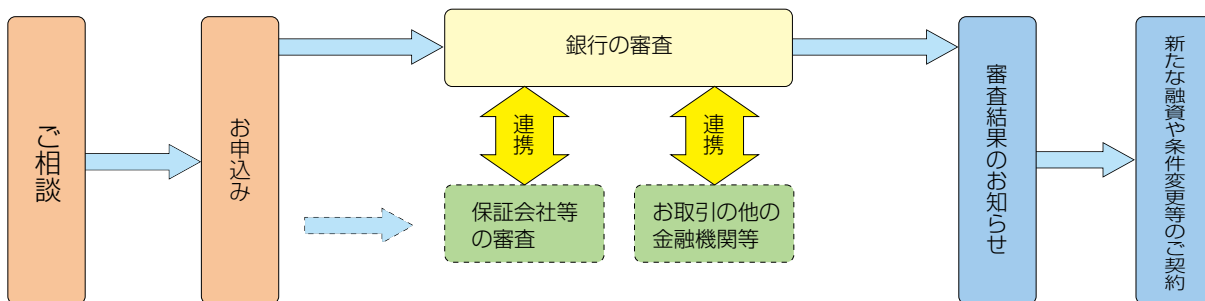
Q 金融円滑化の取組み状況は？

A 地域の中小企業や個人事業主の皆さまおよび住宅ローンをご利用のお客さまを最大限サポートする方針や体制を整備し、金融円滑化への取組みを強化しております。

当行は、お客さまからの新たな融資のご相談や貸付条件変更等のご要望・ご相談に、迅速かつ適切に対応するための体制を敷いております。

体制整備の概要

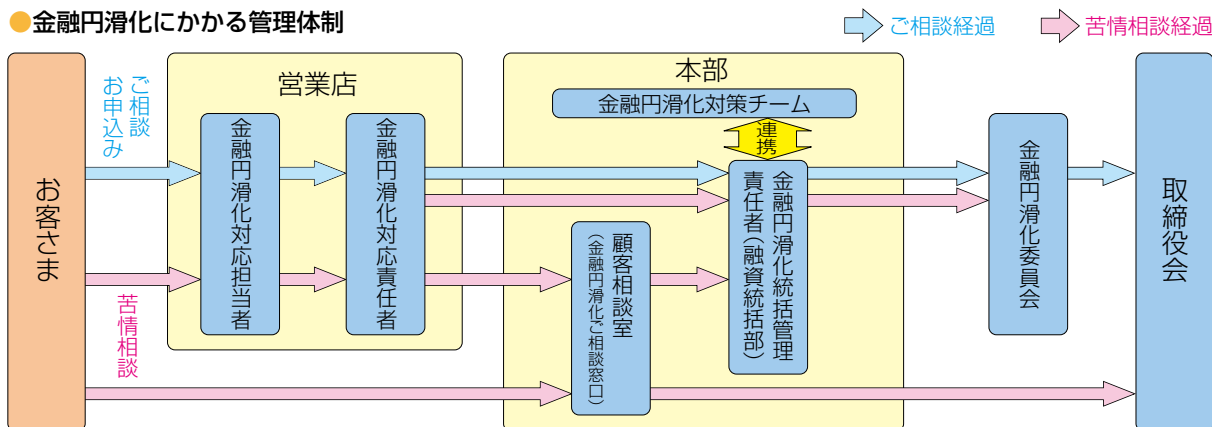
●新たな融資や条件変更等のお取扱い手順



※ご相談やお申込みは営業店の金融円滑化ご相談窓口および本店営業部の住宅ローン窓口でお受けします。

※ご相談やお申込みに関する苦情・ご相談は営業店の金融円滑化ご相談窓口または本部内の顧客相談室にお申し付けください。

●金融円滑化にかかる管理体制



●お問合せ先 お取引店もしくは

顧客相談室「金融円滑化苦情相談窓口」フリーダイヤル 0120-198-500

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

貸付けの条件の変更等の実施状況

(平成21年12月4日施行「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」第4条および第5条に基づく措置の実施状況)

(単位：百万円・件)

(債務者が中小企業者である場合)	平成21年 12月末	平成22年 3月末	平成22年 6月末	平成22年 9月末	平成22年 12月末	平成23年 3月末	平成23年 6月末	平成23年 9月末	平成23年 12月末	平成24年 3月末	平成24年 6月末	平成24年 9月末
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額	2,785	9,095	12,490	15,575	19,662	24,056	27,959	31,258	34,110	37,479	40,968	44,584
うち、実行に係る貸付債権の額	578	5,774	9,474	12,605	15,947	20,268	23,690	27,217	29,277	32,832	35,756	38,638
うち、謝絶に係る貸付債権の額	0	289	1,097	1,274	1,375	1,528	1,709	1,925	2,107	2,250	2,437	2,691
うち、審査中の貸付債権の額	2,152	2,804	1,457	835	1,441	1,175	1,142	494	1,065	681	1,046	1,447
うち、取下げに係る貸付債権の額	54	225	461	860	896	1,084	1,417	1,621	1,660	1,714	1,726	1,807
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数	175	652	961	1,233	1,506	1,809	2,105	2,334	2,562	2,803	3,034	3,237
うち、実行に係る貸付債権の数	33	350	664	924	1,141	1,414	1,662	1,879	2,069	2,314	2,488	2,666
うち、謝絶に係る貸付債権の数	0	23	111	141	166	194	211	247	271	286	303	333
うち、審査中の貸付債権の数	139	255	138	87	108	98	108	72	79	57	96	80
うち、取下げに係る貸付債権の数	3	24	48	81	91	103	124	136	143	146	147	158

(単位：百万円・件)

(債務者が住宅資金借入者である場合)	平成21年 12月末	平成22年 3月末	平成22年 6月末	平成22年 9月末	平成22年 12月末	平成23年 3月末	平成23年 6月末	平成23年 9月末	平成23年 12月末	平成24年 3月末	平成24年 6月末	平成24年 9月末
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額	134	424	590	802	946	1,004	1,098	1,181	1,310	1,344	1,417	1,442
うち、実行に係る貸付債権の額	20	179	297	443	582	610	646	726	837	861	915	935
うち、謝絶に係る貸付債権の額	0	9	62	129	151	191	232	253	265	282	282	282
うち、審査中の貸付債権の額	114	190	105	96	42	33	51	33	33	17	35	24
うち、取下げに係る貸付債権の額	0	45	124	132	168	168	168	168	173	183	183	199
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数	11	33	47	63	72	77	85	95	104	106	110	112
うち、実行に係る貸付債権の数	3	13	24	36	45	48	52	60	67	70	73	74
うち、謝絶に係る貸付債権の数	0	2	7	10	11	13	15	18	19	20	20	20
うち、審査中の貸付債権の数	8	15	8	8	3	3	5	4	4	1	2	2
うち、取下げに係る貸付債権の数	0	3	8	9	13	13	13	13	14	15	15	16

※貸付債権の額・数は返済条件変更等のお申込み時点での債権金額および件数を記載しております。

※貸付債権の額・数は、法施行日からの累計を記載しております。

※「中小企業者」には事業を行う個人のお客さまを含みます。

Q 地域貢献にはどのように取組んでいるの？

(本業を通じた地域貢献)

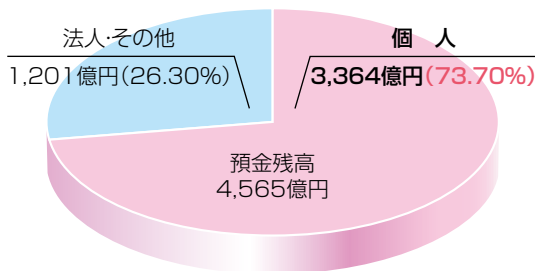
A 預金は個人のお客さま、
貸出金は地元中小企業等向けが中心です。

(平成24年9月30日現在)

1 個人預金残高の比率

個人預金残高は3,364億円であり、預金残高全体に占める比率は**73.70%**となっております。

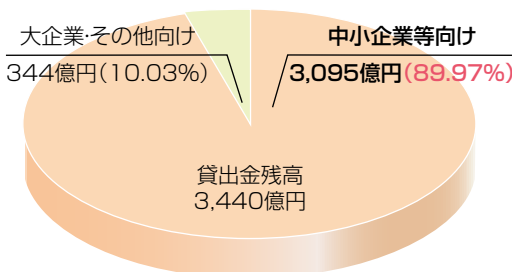
■ 個人預金残高の比率(譲渡性預金を含む)



2 中小企業等向け貸出金残高の比率

中小企業等向け貸出金残高は3,095億円であり、貸出金残高全体に占める比率は**89.97%**となっております。

■ 中小企業等向け貸出金残高の比率
(個人向け貸出金含む)



A さまざまなご融資を取扱っております。

1 担保・保証に過度に依存しない融資の取扱い

事業者の皆さまの事業発展のために、中小企業等向けビジネスローンや資産を活用した動産担保ローンの取扱いにより、地域の皆さまの幅広い資金ニーズにお応えしております。

- 『福中銀事業応援ローン』
- 『福中銀スモールビジネスローン』
- 『福中銀トラック担保ローン』
- 『福中銀動産担保ローン』

・お問合せ先 お近くの窓口もしくは

福中銀ふれあいプラザ

フリーダイヤル 0120-077-725

TEL 092-751-4667

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

2 「次世代育成支援型住宅ローン」の取扱い

新婚家庭および子どもを育てる家庭向けに金利負担を軽減した住宅ローン「次世代育成支援型住宅ローン」の取扱いをしております。

また、「エコ住宅ローン」(本誌16ページに記載)との組合せにより、さらに金利引下げします。

- 「次世代育成支援型住宅ローン」
- 『ようこそ新婚さん』
- 『すこやかファミリー』



・お問合せ先 お近くの窓口もしくは

福中銀ふれあいプラザ

フリーダイヤル 0120-675-430

TEL 092-751-4667

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

A 地域との密着化も図っております。

1 本店アトリウムで保険・住宅ローン相談会実施

本店1階のアトリウムでは、保険や住宅ローンの相談を受付けております。

ご相談・分析・提案は、すべて無料です。

どうぞ、お気軽にご予約・ご来店ください。

●『福中銀・FP保険プラザ』

当行と保険代理店（ＦＰアソシエイツ＆ファイナンシャルサービス株式会社）により、ライフプラン作成をはじめ、保険の見直しや資産運用等、様々なアドバイスや提案を行っております。

福中銀・FP保険プラザ（予約制） 場所：本店アトリウム
営業時間：月曜日から金曜日 午前10時～午後7時 土曜日 午前10時～午後5時
（日曜・祝日等、月曜日から土曜日の正午～午後1時は休み）

予約専用電話 092-751-5171

（受付：月曜日から金曜日 午前10時～午後7時 土曜日 午前10時～午後5時）
当日のご予約も受付けております。（銀行休業日を除きます）

●『住宅ローン休日相談』

毎月第1・第3土曜日に、住宅の新築・購入・借換などを検討されている方を対象にした予約制の「住宅ローン休日相談」を行っております。

現在、当行とお取引がない方や返済条件の変更を希望される方もお気軽にご連絡ください。

住宅ローン休日相談（予約制） 場所：本店アトリウム
営業時間：毎月第1・第3土曜日 午前10時～午後5時

予約専用フリーダイヤル 0120-196-290

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
第1・第3土曜日 午前10時～午後5時）
当日のご予約も受付けております。（銀行休業日を除きます）



2 福岡県「子育て応援宣言」に登録

福岡県では、子育てをしながら引き続き能力を活かして働くことが出来る社会の実現を目指し、「子育て応援宣言」登録企業を広く求めています。当行もその趣旨に賛同し、以下の宣言を行いました。



子育て応援宣言書

我が社は、従業員が出産・育児期を通して十分な子育てをしながら、引き続きその職務能力が発揮できるよう、次の取組みを行うことを宣言します。

取組内容

- 毎週水曜日の早帰り日を推進し、子どもとのふれあいを大切にします。
- 配偶者の出産時休暇制度を奨励します。
- 子ども看護休暇制度の周知を図ります。

3 次世代育成支援対策推進法にもとづく「一般事業主行動計画」を策定

従業員が仕事と子育てを両立させることができ、全員が働きやすい環境を作ることによって、全ての従業員がその能力を充分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定しました。

計画期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日
内 容

- 目標1 計画期間中に、女性の育児休業取得率を70%以上、男性の育児休業を1名以上取得させる。
- 目標2 育児休業から復帰する従業員がスムーズに職場復帰できるよう「職場復帰研修」を実施する。
- 目標3 子どもの出生時における父親の休暇取得の促進。計画期間中に平均取得率を該当者の40%以上とする。

A 地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝いと、中小企業の経営支援を行っております。

1 お客さまからのご相談等の受付

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時）
ただし、銀行休業日を除きます。

お客さまからのご相談等にお応えするため、下記の相談センターを設置しております。

銀行業務に関してお困りのことやご要望がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

福中銀ふれあいプラザ

・お問合せ先 TEL 092-751-4667

- 融資相談センター
- お客さまサービスセンター
- 保険・投信窓販センター

中・小企業経営支援

・お問合せ先 融資統括部
TEL 092-751-4449

2 「ふくちゅうぎん経営塾21WEB倶楽部」で事業発展のお手伝い

当倶楽部は、経営者・事業後継者および企業経営のノウハウを修得したいと考えている方々に、インターネットを活用して、日常の経営実務に役立ち、ビジネスチャンスに直結する様々な情報をタイムリーにご提供し、事業発展のお手伝いしております。

・お問合せ先 福中銀ふれあいプラザ



3 「MUSBO元氣塾」で次世代経営者や若手経営者の育成と交流、事業発展のお手伝い

次世代経営者や若手経営者を対象に講演会や勉強会、懇親会を開催し、経営者の育成支援や企業間交流、事業発展のお手伝いをしております。頭取をはじめ当行の主な役員が全て参加します。

・お問合せ先 福中銀ふれあいプラザ



4 当行キャッシュカードがセブン-イレブンなどにあるセブン銀行ATMで利用可能

当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国のセブン-イレブン等に設置のセブン銀行ATMで、「お引出し」、「お預入れ」、「残高照会」のサービスをご利用いただけます。

また福岡中央銀行ポイントサービス「MUSBOクラブ」1stステージ以上のお客さまは、セブン銀行ATMを手数料無料でご利用いただけます。
※「法人カード」、「通帳」、「硬貨」によるお取引や、「お振込」についてはお取扱いできません。



Q 環境保全には配慮しているの？

A 地域金融機関として、環境問題にも取り組んでおります。

1 環境配慮型住宅に対する住宅ローンの金利負担を軽減

環境配慮型住宅の新築・購入・増改築および借換をされるお客さまを対象に、当行取扱いの住宅ローンより金利を引き下げる「エコ住宅ローン」の取扱いをしております。

また「次世代育成支援型住宅ローン」（本誌13ページに掲載）との組合せにより、さらに金利引下げします。

- 「エコ住宅ローン」
 - 『オール電化住宅ローン』
 - 『ホットメリット住宅ローン』



● お問合せ先 お近くの窓口もしくは
福中銀ふれあいプラザ

フリーダイヤル 0120-675-430

TEL 092-751-4667

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

住宅ローン休日相談（予約制） 場所：本店アトリウム
営業時間：毎月第1・第3土曜日 午前10時～午後5時
予約専用フリーダイヤル 0120-196-290

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
第1・第3土曜日 午前10時～午後5時
当日のご予約も受付しております。(銀行休業日を除きます))

2 クレジット一体型ICキャッシュカード 「MUSBOカード」の収益の一部を寄付

「MUSBOカード」のコンセプトは絆を「結ぼう!」です。そのためお客さまとの結びつきにとどまらず、MUSBOカードを通じて社会貢献に参画し、社会との結びつきを深めたいと思い、カードからの収益の一部を福岡県内の環境保全活動を行う団体に寄付しております。



西日本エコ基金贈呈式



MUSBOカード

3 「チャレンジ25キャンペーン」に参加

当行は、地球温暖化の原因となっている CO₂ 等温室効果ガスの削減問題への取組みとして、政府の推進する「チャレンジ 25 キャンペーン」に参加し、より具体的な取組内容を「チャレンジ25宣言」として表明いたしました。

「チャレンジ25宣言」

私たち株式会社福岡中央銀行は、「チャレンジ25キャンペーン」に参加します。

会社の事業活動、社員の行動を通じて地球温暖化防止に努めることを宣言します。



Q 金融犯罪防止への取組みは？

A 安心してお取引いただくために、お客さまに注意喚起を行うとともに、さまざまな対策に取り組んでおります。

1 振り込め詐欺への対応

● 振り込め詐欺撲滅への取組み

窓口で振込依頼を受付した際などに、お客さまへ振り込め詐欺被害防止のための声掛け、心配りを行うことで、被害未然防止に努めております。

● 振り込め詐欺の被害にあわないために

振り込め詐欺の被害にあわないために、以下のことにご注意ください。

電話、郵便等により高額の現金を預金口座等に「振り込め」というものについては、「**すぐに振り込まない。一人で振り込まない。**」でください。

● オレオレ詐欺（恐喝）

電話を切った後、必ず本人やその家族、勤務先等と連絡を取り、事実を確認しましょう。

● 還付金詐欺

社会保険事務所や自治体などが、ATMで手続きさせることはありませんし、お金が振り込まれることもありません。

架空請求詐欺（恐喝）や融資保証金詐欺等にも充分ご注意ください。

万一、振り込め詐欺の被害にあわれたとき

直ちに警察と振込先の金融機関へご連絡し、振り込んだ預金口座の利用停止を求めてください。

被害にあわれ、当行の口座に振り込みをされた方は下記までお申し出ください。

振り込め詐欺救済法による被害金返還請求などに関するお問合せ先

顧客相談室 TEL 092-751-4470

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
ただし、銀行休業日を除きます）

2 CD・ATMを利用した犯罪被害防止策の実施

地域の皆さまにキャッシュカードを安全にご利用いただけるよう、セキュリティの強化に努めております。

- ATMでの1日1口座あたりのご利用限度額を現金のお支払は50万円、お振込は200万円としております。
- お客さまご自身がATMで1日1口座あたりのご利用限度額や暗証番号の変更ができます。また、営業店窓口での変更もできます。
- 暗証番号変更時、生年月日等類推されやすい暗証番号の登録を制限しております。

カード・通帳・印鑑等をなくされた時のご連絡先

● 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時

お取引店または当行本支店

（電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください）

● 銀行休業日および上記以外の時間帯

福岡中央銀行CD監視センター

TEL 092-751-5036

3 暴力団排除条項の導入に伴う預金規定等の改定

反社会的勢力との関係遮断のための取組みを積極的に推進しております。

政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」等の内容を踏まえ、預金等の規定を改定し、暴力団排除条項を導入しております。

これにより、各預金取引のお申込みを受けた際等に、お客さまが反社会的勢力に該当しないことを表明、確約していただき、お取引開始後に表明、確約が虚偽の申告であった場合や反社会的勢力に該当することが判明した場合には、取引を停止、または解約させていただきます。

役員・株式のご案内

● 役員のご案内 ●

(平成24年10月1日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	末 松 修
常務取締役	重 富 隆 信
常務取締役	栞 原 学
常務取締役	國 松 利 行
常務取締役	中 島 健 二
取締役	藤 原 俊 文
取締役	井 桁 善 廣
取締役	西 村 典 純
取締役	石 塚 昭 二
常任監査役 (常 勤)	力 丸 光 典
監査役 (非常勤)	永 利 新 一
監査役 (非常勤)	鎮 西 正 直
監査役 (非常勤)	酒 見 俊 夫

(注) 監査役永利新一、鎮西正直および酒見俊夫は、社外監査役です。

● 株式のご案内 ●

- 1. 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 2. 定時株主総会 毎年6月
- 3. 基 準 日
 - 定時株主総会 毎年3月31日
 - 期 末 配 当 毎年3月31日
 - 中 間 配 当 毎年9月30日
- 4. 株主名簿管理人・連絡先
 - 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 同 連 絡 先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 5. 公 告 の 方 法 電子公告により当行ホームページに掲載します。
(<http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>)
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および福岡市において発行する西日本新聞に掲載します。

【お知らせ】

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等につきましては、証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へ、証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお申出ください。
- ・特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

店舗・ATMのご案内

(平成24年12月1日現在)

店舗一覧

【金融機関コード 0582】 ● 休日稼働時間は土曜日、日曜日、祝日の9:00～17:00です。

店舗コード	店舗名	郵便番号	住所	電話番号	ATM稼働状況		外貨両替 取扱店	住宅金融支援機構 取扱店
					平日	休日稼働		
001	本店営業部	〒810-0041	福岡市中央区大名二丁目12-1	092-751-4433	8:00~21:00	●	●	●
002	清川支店	〒810-0005	福岡市中央区清川一丁目12-3	092-521-0531	9:00~18:00			
031	平尾支店	〒810-0014	福岡市中央区平尾二丁目19-22	092-531-4635	8:00~20:00	●		●
004	博多支店	〒812-0026	福岡市博多区上川端町3-4	092-281-5107	8:00~21:00	●		●
026	博多駅東支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目1-25	092-411-7461	8:00~21:00	●		●
042	筑紫通支店	〒812-0893	福岡市博多区那珂一丁目22-3	092-451-2851	8:00~20:00	●		●
006	雑餉隈支店	〒812-0878	福岡市博多区竹丘町二丁目1-5	092-581-3731	8:00~20:00	●		●
005	馬出支店	〒812-0054	福岡市東区馬出二丁目22-21	092-651-6961	8:00~20:00	●		●
027	香椎支店	〒813-0013	福岡市東区香椎駅前二丁目9-6	092-681-2136	8:00~20:00	●		●
003	西新支店	〒814-0002	福岡市早良区西新五丁目1-38	092-821-3061	8:00~21:00	●		●
039	室見駅前出張所	〒814-0015	福岡市早良区室見四丁目24-21	092-851-4344	9:00~18:00			
032	原支店	〒814-0022	福岡市早良区原六丁目21-31	092-851-6261	8:00~20:00	●		●
030	長尾支店	〒814-0123	福岡市城南区長尾一丁目17-10	092-861-0211	8:00~20:00	●		●
033	七隈支店	〒814-0133	福岡市城南区七隈三丁目1-24	092-862-3871	8:00~20:00	●		●
036	新室見支店	〒819-0025	福岡市西区石丸一丁目14-12	092-882-0711	8:00~20:00	●		●
016	野間支店	〒815-0041	福岡市南区野間一丁目11-31	092-541-4534	8:00~20:00	●		●
028	大橋支店	〒815-0033	福岡市南区大橋三丁目27-18	092-541-6365	8:00~20:00	●		●
037	松原支店	〒811-1355	福岡市南区松原一丁目33-31	092-512-8911	8:00~20:00	●		●
038	鶴田支店	〒811-1352	福岡市南区鶴田二丁目22-5	092-565-7398	8:00~20:00	●		●
046	志免支店	〒811-2207	糟屋郡志免町南里四丁目11-7	092-937-1211	8:00~20:00	●		●
045	前原支店	〒819-1116	糸島市前原中央一丁目5-1	092-324-4371	8:00~20:00	●		●
029	二日市支店	〒818-0072	筑紫野市二日市中央五丁目8-3	092-922-6731	8:00~20:00	●		●
034	自由ヶ丘支店	〒811-4163	宗像市大字自由ヶ丘五丁目975-11	0940-33-3321	8:00~20:00	●		●
035	須玖支店	〒816-0863	春日市須玖南三丁目32-3	092-572-1321	8:00~20:00	●		●
040	大利支店	〒816-0952	大野城市下大利一丁目1-13	092-581-6051	8:00~20:00	●		●
041	ひまわり台出張所	〒818-0134	太宰府市大佐野六丁目2-8	092-925-9771	8:00~20:00	●		●
007	小倉支店	〒803-0812	北九州市小倉北区室町二丁目6-1	093-561-4985	8:00~20:00	●		●
008	門司支店	〒801-0851	北九州市門司区東本町一丁目2-10	093-321-3861	8:00~20:00	●	●	●
009	戸畑支店	〒804-0082	北九州市戸畑区新池二丁目10-11	093-871-4524	9:00~18:00	●		●
011	若松支店	〒808-0034	北九州市若松区本町二丁目2-21	093-761-4723	8:00~20:00	●		●
025	黒崎支店	〒806-0026	北九州市八幡西区西神原町2-30	093-631-4538	8:00~20:00	●		●
017	行橋支店	〒824-0003	行橋市大橋三丁目6-7	0930-23-2381	8:00~20:00	●		●
013	飯塚支店	〒820-0040	飯塚市吉原町12-1	0948-22-2380	8:00~20:00	●		●
014	直方支店	〒822-0017	直方市殿町4-1	0949-22-2110	8:00~20:00	●		●
015	田川支店	〒825-0012	田川市日の出町3-5	0947-42-3111	9:00~18:00			●
020	久留米支店	〒830-0017	久留米市日吉町5-45	0942-33-7391	8:00~20:00	●		●
043	久留米合川支店	〒839-0809	久留米市東合川二丁目3-7	0942-43-1091	9:00~18:00			●
021	大牟田支店	〒836-0842	大牟田市有明町二丁目2-14	0944-52-4246	8:00~20:00	●		●
022	大川支店	〒831-0016	大川市大字酒見130-1	0944-87-3200	9:00~18:00			●
023	八女支店	〒834-0063	八女市本村425-237	0943-23-2181	9:00~18:00			●
024	甘木支店	〒838-0068	朝倉市甘木1840-1	0946-22-3900	8:00~20:00	●		●

店舗外自動サービスコーナー

● 休日稼働コーナー(9:00～17:00)

- ＜福岡市中央区＞ ● 西鉄福岡駅2階コンコース北側(ATM)
福岡市鮮魚市場会館1階(CD)
- ＜福岡市博多区＞ ● 地下鉄博多駅筑紫口地下1階コンコース(ATM)
福岡合同庁舎1階(CD)
千鳥橋病院1階(ATM)
- ＜福岡市城南区＞ ● 南片江テングッド片江ビル1階(ATM)
- ＜糟屋郡志免町＞ 志免町役場(CD)
- ＜糸島市＞ 糸島市役所(CD)

- ＜春日市＞ 春日市役所(CD)
- ＜筑紫野市＞ 筑紫野市役所(CD)
- ＜行橋市＞ 行橋市役所(CD)
- ＜田川市＞ 田川市役所(CD)
田川市立病院(CD)
- ＜直方市＞ 直方市役所(CD)
- ＜朝倉市＞ 朝倉市役所(CD)

携帯電話・スマートフォンはこちらからアクセス→

パソコンからアクセス (福岡中央銀行) (検索)



この街で ぎいっしょに

福岡中央銀行

平成24年12月発行

福岡中央銀行 総合企画部

〒810-0041 福岡市中央区大名二丁目12番1号

電話番号 092-751-4431(代)

ホームページ <http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>